

第37回経済シンポジウム

魚食の将来

周囲を海で囲まれ、魚食文化の発達した日本ですが、魚食を支える国内水産業は現在様々な問題に直面しています。一方、世界に目を転じると、中国を中心とした魚介類消費の急増のなかで、需給逼迫の懸念が次第に強まりつつあります。日本の魚食は今後どうなっていくのでしょうか？日本・中国の専門家を招き、議論します。

日時 2017年 **12**月 **15**日（金）13:00開場
13:30~17:30

会場 **大東文化大学板橋校舎** 中央棟多目的ホール
※ 入場無料／事前申込み不要／一般の方も歓迎

報告

◆ 危機に立つ日本の魚食

山下東子（大東文化大学 経済学部教授）

◆ 中国で増加する魚食と対日貿易

李欣（上海海洋大学 経済管理学院准教授）

◆ 日本のまぐろ市場と消費動向

川本太郎（株式会社 極洋 新事業推進室長）

◆ 水産物流通の変容と魚食の将来

婁小波（東京海洋大学 海洋政策文化学部部門教授）

パネルディスカッション

パネリスト

山下東子

李欣

川本太郎

婁小波

ファシリテーター

土橋俊寛（大東文化大学 経済学部准教授）



 **大東文化大学**

— お問い合わせ —

〒175-8571 東京都板橋区高島平 1-9-1（会場と同じ）

TEL: 03-5399-7327 E-Mail: ier@ic.daito.ac.jp